

VOL.130

農協からのお便り

1
2019

グリーン
Green
地域と農業をむすぶJA広報誌



新春

今年が素敵な1年になりますように...



年頭にあたり

上川中央農業協同組合
代表理事組合長

野口昇

組合員並びに御家族の皆様新年明けましておめでとう御座います。平成31年の新春を御壮健で輝かしく迎えられたものと御慶び申し上げます。

日頃の農協事業への深い御理解と御協力を賜っていることに対しても、改めて敬意と感謝を申し上げます。

去年の農業全般を振り返りますと大きな括りでは、天候不順と災害に惑わされる1年と言えるのではないかと思っております。

9月6日の夜半には胆振東部地震が発生し、厚真町の農業者の間や御家族に40余名の犠牲者が出ました。謹んでご冥福をお祈り致します。

それに特筆すべき6月から7月にかけての長雨と低温基調が、水田地帯で続き稲の生長を阻害し近年にない作況指数90の結果となりました。

気象変動の大きさは、近年台風

の通過などの危険性をはらむように変化して来ました。又当上川中央農協で取扱いをする農産物は、本来の収量には遠く及ばない品目が認められました。このような状況でホクレンと北海道米販売拡大委員会は、集荷戴いた「ゆめぴりか」を「合組」と銘打ってブレンド米として販売することとなっております。

また、「ブラックアウト」という北海道全域停電を経験した年でもありました。酪農家の搾乳作業また集乳車両の運行・乳業メーカーの業務休止等の事態に陥りました。

また愛別町では長時間停電による空調機器の停止が、基幹産業である「きのこ」の発生収穫不良を招く結果となりました。今後自家発電設備等の整備とともに検討する契機になればと思われれます。

長く議論討論が繰返されてきた貿易交渉では、協定「TPP11」が去年12月30日に関連各国で発効

されました。また9月にはすでに日米両国間で「日米物品貿易協定」の交渉の扉が開かれました。「TPP」以上の条件を目論むアメリカ政府との攻防が再開されます。既に署名されている日EUとの「EPA協定」。其々の協定で今後の日本の農業政策が試される局面です。

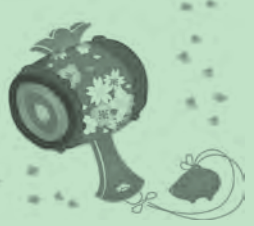
日本の食料基地である北海道の常に活気のある姿こそが、食料自給率向上などに結びついていくのだとの思いがあります。多くの若い農業者が其々の町に戻って来ています。

第29回J A大会でも確認されている『豊かな魅力ある農村』『力強い農業』の建設に力を注入出来ればと思えます。

最後に本年が、気象全般が穏やかで自然災害などに見舞われることなく、豊穡の秋の美酒に酔える歳であらんことを、合わせて皆様の御健勝を御祈念申し上げ新年の挨拶と致します。

謹賀新年

- | | |
|-------------|------|
| 代表理事組合長 | 野口昇 |
| 代表理事常務 | 木村悦明 |
| 理事 | 大村正利 |
| 理事 | 岩城一憲 |
| 理事 | 辰巳真 |
| 理事 | 青木光晴 |
| 理事 | 武田明彦 |
| 理事 | 伊藤章一 |
| 理事 | 昔農昌人 |
| 理事 | 松岡康弘 |
| 信用担当理事兼金融部長 | 高橋勝彦 |
| 代表監事 | 関行男 |
| 監事 | 田中敏明 |
| 員外監事 | 川崎進 |





年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、7月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJAグループ北海道・農業

関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。現在、JAグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと、米は、作況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度も概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところとです。

国際貿易交渉については、9月27日、日米両国が「日米物品貿易協定」(TAG)の交渉開始に合意したことが発表されました。今後、TAG交渉において、米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視し

ていくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めまいります。

さて、昨年11月には、第29回JA北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆様のご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この3年間の実践期間のうち、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、2021年3月には「准

組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、JAグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、JAグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は己亥(つちのとい)です。亥には、「無病息災」や「安定した状態」で始動を待つ準備期間の意味があるとのこととあります。今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦勞が報われる実り多い豊穡の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。





新年のご挨拶

JA上川中央青年部

部長 水谷 雅仁

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましてはお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の青年部活動を振り返ってみますと、まず3月に愛別支部・上川支部の合併により、新たに上川中央青年部が発足いたしました。今まで別々の活動をしてきた青年部が一つになり、愛別・上川という区別なく上川中央という目線で活動して行く青年部に生まれ変わりました。お互いの良い所を持ち寄り、不足している所は補い合いよりパワーアップした青年部になることを目指しております。

合併青年部の活動を進めていくことは、男女の結婚に似ていると思います。活動スタイル、文化、職種などあらゆる違いがある者同士が一つになるためにどうやってうまくやっていけるのか？そのためにも大事なことはお互いを思いやる心、相手の状況を理解しようとする心だと思えます。つまりそ

れは愛という言葉に集約されます。

「愛」を持って活動することで形を整えただけでは、心の繋がった本当の意味で統合された一つの青年部になれると信じております。そうなるためにスローガンが必要だと考え部員に募集したところ、上川の「上」と愛別の「愛」を合わせて「この上ない愛」というスローガンが誕生いたしました。上川中央青年部はすべての活動において「この上ない愛」をもって活動してまいります。

昨年は新事業として、農業巡回事業を行いました。愛別地区・上川地区でそれぞれ行い職種の違いや、農業に対する思いを知り、互いの理解を深めました。また、愛別夏祭りにおいて農畜産物のPRを目的として出店し、栽培する以外に魅力を伝えることや、消費者に買ってもらうためにはどうすればよいかということ学びました。そこで得た収益は今後の事業の充実に充てることとし、さらなる組

織強化を図って行きたいと思っております。その他の活動につきましては、各支部で伝統的に行われている活動を継続して行い、支部の違いは関係なしに参加できる部員で活動を行っております。

上青協事業にも積極的に参加し、上川管内の盟友と共に学び、交流し知識・見聞を広める活動を行っております。上青協では愛別の高田さんが役員を務められ二年目を迎え、役員の中でもひときわ大きな存在感を示し、協議会を牽引する活躍をされています。誇りに思うと同時に、その姿から多くのことを学ばせていただきましたと思っております。

今年には合併二年目を迎えます。事業を通じて多くの学びを得ながら、部員同士の「愛」を育てる活動をコツコツやっていきたいと思えます。「この上ない愛」は世界で上川中央しか掲げることができないスローガンです。愛を持ってあらゆる面で調和の取れた組織にな

謹賀新年

- | | | |
|-----|--------|------|
| 部長 | 水谷 雅仁 | (愛別) |
| 副部長 | 熊倉 信幸 | (上川) |
| 理事 | 鉢呂 健人 | (愛別) |
| 理事 | 佐藤 直哉 | (上川) |
| 理事 | 木戸場 春助 | (愛別) |
| 理事 | 増村 涼 | (上川) |
| 理事 | 奥 典大 | (愛別) |
| 理事 | 笠松 健太 | (上川) |
| 監事 | 沼田 義弘 | (愛別) |
| 監事 | 辰巳 裕亮 | (上川) |

る事、それができた時、私達にしか出せない輝きを放てると思えます。愛が欠乏していると思える世の中だからこそ、その輝きは価値のあるものとなります。上川中央「この上ない愛」というブランドینگになり、他との差別化が図られ、唯一無二の存在になれると思っております。それがJA上川中央の今後の活路になると信じています。

今後も青年部活動にご理解ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様にとって実り多き年となることをご祈念申し上げます。謹賀新年とさせていただきます。



新年のごあいさつ

JA上川中央女性部上川支部
部長 辰巳 明美

明けましておめでとございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また日頃より女性部活動に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は雪解けも順調に春作業が進みましたが、6月に入ると長雨・低温が続いたあと、一転して高温干ばつとなり、さらには水害や台風など農作物にとつて厳しい状況となりました。また9月6日に発生した胆振東部地震によって大規模停電が発生し、酪農やきのこ生産などにも多大な影響を与えました。被災された方々には改めて、心よりお見舞い申し上げます。

そんな状況の中ではありましたが、女性部では11月に道外視察研修を開催し、初めての東京視察となりました。東京農業大学世田谷キャンパスにある「食と農の博物館」を訪れ、館内パイオリウムの解説などを伺いました。視察日はちょうど「ブタになったイノシシたち」という展示企画が開催されておりましたので、猪年である本年に合わせてご紹介します。

北海道は豚肉消費量が全国3位に入るほど、食卓においてもブタは身近な存在です。一方でイノシシは道外に生息し、馴染みのない動物ですが、じつはブ

タの原種はイノシシなのです。現在広く普及している西洋品種も、もともとはイノシシを家畜化育種改良したものだということ。現在でもイノシシを飼育・家畜するケースは国内外に多数あり、歴史的に見てもそれだけイノシシが家畜化されやすい、人に懐きやすい動物だといえます。

とくに興味深かったのは、「イノシシは男性より女性に懐く」ということで「イノシシの家畜化を考えるうえで女性たちの存在は極めて重要だったのではないか」と述べられていたことです。現代の養豚に至る歴史の始まりにおいて、女性が重要な存在であったことに感動するとともに「女性だからこそ果たせる役割がある」と改めて勇気をもたらす視察となりました。

近年は異常気象や災害により、思うように営農ができない年が続いております。それでも諦めず明日のために種を播き続けること、そして女性だからこそ担える役割を果たせるよう、今年も女性部活動を展開して参りたいと思っております。

最後になりますが、各関係機関の皆様には本年も変わらぬご指導・ご鞭撻のほどを心よりお願い申し上げます。新年のご挨拶と代えさせていただきます。



新年のご挨拶

JA上川中央女性部愛別支部
部長 藤村 仁美

新春 明けましておめでとございます。女性部の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、天候の不順、台風、地震によるブラックアウトで色々な物事がストップし、本当に電気の有難さが身に染みて思い知らされました。北海道でも、地震によって被災された方々もあり、心よりお見舞い申し上げます。

厳しい事柄ばかりではありませんでした。7月の一日研修旅行in増毛町。天候にも恵まれ、さくらんぼ狩り、増毛町での散策など楽しい一日を過ごしました。11月には、JA北海道大会にも参加させていただき、本当に多くの人達が農業に携わっていたのを見て目を当たりにし、農業も発展していくものと思えました。

今年もまた前を向いて愛別の農協女性部らしさ、色々なアイデア

を吸収できる女性部を作って行きたいと、役員共々、努力して行うと思えます。今後とも女性部活動にご理解・ご協力をお願い申し上げます。皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶いたします。

謹賀新年

愛別支部	部長	藤村 仁美
副部長	昔農 深雪	黒田 ひとみ
理事	奥山 仁子	押川 末子
監事	上川 支 部	上川 支 部
副部長	遠藤 初美	石山 小百合
副部長	菊地 由紀子	阪本 由美
監事	阪本 由美	阪本 由美

するーらいふ 2章

「藪入り～親の喜ぶ顔を楽しみに…」

正月と盆の16日は藪入りと言われた。江戸時代、一定の年限を定めて、住み込みで商家の家業に従事させる制度があった。丁稚は無給で使い走りしながら、読み書き・算盤などを習得した。手代に昇格し有給となり、番頭まで勤め上げて認められれば、「暖簾分け」をして独立する道が開けた。昭和の早い時期まで続けられた。「藪入り」は正月寄席にかかることが多い落語噺である。

三年の間は親元に戻ることは許されず、正月気分が緩んだ頃に故郷へ帰るのである。親はお互い口には出さないが、今か今かとその帰りを待ち侘びる。夜の床で子供の成長のあれこれを思い浮かべて寝むれない父親。母親は手料理を用意する手を止めず、三年の子供の成長を楽しみに夢見る。



横引きの戸が開く。「めっきり寒くなりました」と両親に藪入りでの帰宅を報告する『金坊』。12～13歳児の三年は子供を別人に代えてしまう。親にとっては嬉しい変化である。近くの銭湯で疲れを取るよう勧める母親。小さい時もそうであったように、父親と並んで銭湯で湯に浸かる。

話し振りまでが大人びて三年前の我が子かと驚く。しかし子供の留守に手荷物を整理していると思わぬ大金が出て来る。慌てる母親は、悪い仲間には唆されて悪事を働いたと勘違いをする。東京市は明治33年(1900)1月15日からペスト予防の為、鼠1匹を五銭で買い取り懸賞金を出した。

『金坊』は両親へそのお金を贈ることを楽しみにしていたのである。銭湯から帰った『金坊』は母親からの問い詰めには最後は泣いてしまう。親が喜ぶ顔を楽しみに戻って来たのだ。落語噺は文字にしてしまえば味気ないものとなってしまふ。ひとり芸の妙で、噺の背景や仕草までが手に取るように浮かんで来るのは名人芸のなせる業。鼠の尾で手にした懸賞金だったが、当時在郷の親には伝わらなかったニュースだったのだろう。このような若年者ですら労働力とした時代。この国は今度、海の向こうの働く力を本腰で拡大する方針を打ち出した。もう昔の独楽鼠(こまねずみ)のように動くことだけを求める世界は終焉した。雇用する人々の生まれた国の歴史文化にも触れ、どこまでも寄り添った関係を肝に銘じることだと思ふ。

パズル? 頭の体操



タテのカギ

- 1 障子よりは破れにくい建具
- 3 彼は——東西の文学に詳しい
- 5 素振り中のバットが切るもの
- 6 テンサイなどから作られる調味料
- 7 漫談家が巧みな——で場を滑かせた
- 8 カキやタイラキ、トコフシなど
- 11 ——考査。——手当
- 13 寒い日には氷が張ること
- 15 平成31年の十二支は
- 17 隠蓑に使われる鳥。漢字で書くと重箱
- 19 農具や収穫物を入れておく建物
- 20 壁の——から風が吹き込んだ
- 21 旅客機に乗ってためる人もいます

ヨコのカギ

- 1 輪郭を描いた紙に目や鼻などのパーツを並べて遊びます
- 2 1、2、3や一、二、三など
- 3 『春の海』や『六段の唄(しらべ)』を奏でる楽器
- 4 小銭入れに入れる物
- 6 鹿児島産焼酎の原料の多くはこれ
- 8 空からちらちらと降ってきます
- 10 山田太郎さんだったらT・Y
- 12 窓ると顔に見えるかも
- 14 車窓を流れていくもの
- 16 剣道で使う武器
- 18 こま光を見るために登る人もいます

パズル? 頭の体操

先月号の答え



解答 A B C D E
トシワスレ

JAのあゆみ 12月

- 3日 第3四半期監事監査（～6日）
- 4日 上川町そば部会取引先訪問（～6日）
- 4日 愛別農業青色申告会事務研修会
- 4日 愛別農連常任執行委員会
- 5日 肥料農業講習会（愛別町米麦協議会）
- 6日 第67回全道JA青年部大会（札幌）
- 7日 JA上川地区女性部大会
- 10日 愛別町農業金融制度総合推進会議
- 11日 北海道常例検査（～13日）
- 11日 上川地区農事組合長会議
- 11日 愛別もぎたて市の会会議
- 11日 JA青年部例会
- 11日 JA上川地区女性協議会
- 11日 フレッシュユース交流会（旭川）
- 12日 上川町そば部会道内取引先訪問
- 13日 第5回農家経済対策委員会
- 14日 胡瓜・米なす生産部会会議
- 18日 第4回上川地区農協畑作青果
- 18日 旭川 対策委員会（旭川）
- 18日 愛別町米麦協議会酒蔵訪問
- 19日 内部審査協議会審査（～21日 購買部）
- 25日 愛別米麦協議会役員会
- 25日 愛別農業青色申告会年末調整説明会
- 26日 第6回上川地区農協米対策委員会（旭川）
- 28日 JA懇談会（愛別地区座談会）
- 28日 JA懇談会（上川地区座談会）
- 28日 仕事納め（訓辞）

組合員のうごき

（平成30年11月29日現在）

総組合員数	2,379名
正組合員数	535名
うち団体数	33団体
准組合員数	1,844名
うち団体数	64団体

第10回定例理事会

平成30年11月29日開催

- 1 ■報告事項
 - 1 組合員の脱退について 14名の脱退について報告した。
 - 2 農家経済対策委員会の内容報告について 10月29日の開催内容を報告した。
 - 3 内部審査協議会内部審査実施報告について 金融部（本支所）で実施された監査内容を報告した。
 - 4 短期資金の融資について 1件の資金融資について、内容を報告した。
- 2 ■議事
 - 1 出資持分の譲渡について 1件の譲渡について承認された。
 - 2 組合員の出資減口について 2件の出資減口について承認された。
 - 3 臨時給与の支給基準について 12月支給予定の臨時給与について、支給基準等が承認された。
 - 4 第3四半期見直し計画について 10月未実績に基づく、見直し計画内容について承認された。
 - 5 平成30年産飼料用米に係る仮渡りについて 対象数量に基づいた仮渡り金額が承認された。
 - 6 資金の融資について 4件の融資内容について、審議の結果承認された。
 - 7 理事に対する資金の融資について 1名の理事に対する融資案件について、審議の結果承認された。
 - 8 平成31年営農計画書の審査方針並びに基準について 営農計画書作成に伴う方針並びに基準単価等が承認された。
 - 9 ハンパリース資産の取得貸付について 8件の申込み内容について承認された。
 - 10 定款の部修正について 総会で承認された定款の内容に、一部誤字があったため、総会決議に基づき、理事会において、修正内容が承認された。
 - 11 平成30年度公社牛貸付事業について 乳用牛の貸付内容について、審議の結果承認された。

変わるJA 広がる地域のきずな

変わるJA 広がる地域のきずな

監修—広島大学 助教 小林元

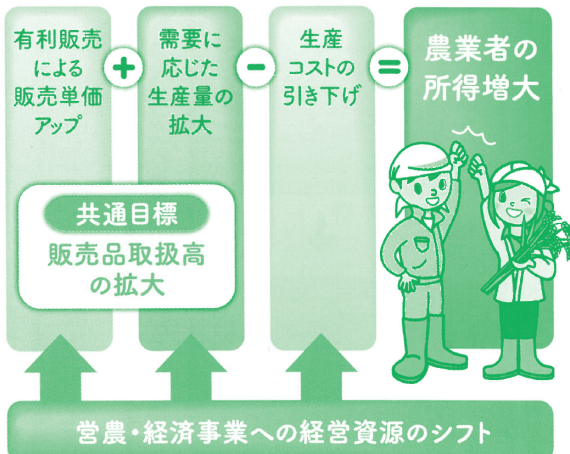
Q、JAの自己改革で農家は元気になるの？

A、現場のニーズに応え、農家の所得増大と生産の拡大を支えます。

JAグループは、自己改革で「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を掲げています。「農業者の所得増大」は、①有利販売による単価アップ②需要に応じた生産量の拡大③生産コストの引き下げ——によって達成します。「農業生産の拡大」に向けては、農業生産基盤の維持・拡大のため、次世代の担い手の育成を進めます。また、「販売品取扱高の拡大」を共通目標とし、組合員と課題を共有し、知恵を出し合いながら取り組んでいきます。

JAグループは、JAグループがめざす姿として、「消費者の信頼にこたえ、安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支える姿」を掲げています。地域農業や国産農畜産物への消費者の理解を広げ、農業の応援団を増やすための活動も行っています。地域の皆さんの協力の力で、地域農業とその主人公である農家が元気になるための取り組みを、自己改革を通じてより一層進めていきましょう。

「農業者の所得増大」の考え方



注）共通目標として掲げる「販売品取扱高の拡大」は、有利販売による販売単価のアップと生産拡大を反映した「農畜産物等の販売収入」に加えて、政策活用や6次産業化等による利用・加工事業を含めたものとします。

耕そう、大地と地域のみらい。



発行：上川中央農業協同組合
〒078-1495 北海道上川郡愛別町字本町125 tel (01658) 6-5311

編集：総務部企画課

E-mail : a-soumu@ja-kamikawa.or.jp

今日の朝食に...



朝ご飯の献立
根菜とミツバのおかゆ レシピ1
切り干し大根とミツバのおひたし レシピ2

根菜とミツバのおかゆ

材料(4人分)	作り方
米...1/2カップ 水...3と1/2カップ(7倍量) ごま油...大さじ1/2 ダイコン...1/8本(短冊に切り下ゆでする) カブ...1個(1/8に切り下ゆでする) ミツバ...1/2束 塩...適宜	(1)米をとき、ざるにあげ20分置いた後、ごま油を絡めておく。 (2)手鍋に水と(1)を入れ中火にかけ沸騰したら弱火にしてコトコト炊いていく。 (3)炊いていく途中で、ダイコンとカブを入れ塩で味を調え、刻んだミツバを散らして出来上がり。



ポイント
炊き上がりまでの時間の目安は20~30分

切り干し大根とミツバのおひたし

材料(4人分)	作り方
切り干し大根...30g ミツバ...1束 かつお節...適宜 だし汁 かつおだし...1と1/2カップ 薄口しょうゆ...大さじ1 みりん...大さじ1 塩...小さじ1/2	(1)切り干し大根を水で戻し、固く絞っておく。ミツバは1cm幅に切る。 (2)だし汁を沸かし、切り干し大根を入れて弱火で10分煮て冷ましておく。 (3)ボウルに切り干し大根とミツバを入れて混ぜ合わせ、器に盛りだし汁を適量張り、かつお節を散らして出来上がり。



大変お世話になりました

菅原 和行

金融部上川支所長

(11月26日付)

辞令交付

金融部上川支所長代理
牧野 知晴

(旧)金融部上川支所
管理金融係長

金融部上川支所
管理金融係長
鈴木 直美

(旧)営農部上川営農センター
地域振興係
(12月10日付)

1月31日(木)棚卸による
営業時間変更のお知らせ

事業年度末の棚卸業務により、営業時間を変更させていただきます。皆様にご不便をおかけしますが、ご理解よろしくお願い致します。

- 1月31日(木)
 - ・資材店舗(本所・支所)・農機センター 休業
 - ・ホクレン給油所(愛別・上川) 17:00 まで短縮営業